

### 3 平均賃金

#### (1) 全常用労働者の平均賃金（集計表 第3表-①、②）

令和4年7月の全常用労働者（役付者を含む。）の平均賃金は、所定時間内賃金が363,904円、所定時間外賃金が32,453円となり、合計で396,357円（平均年齢42.9歳、平均勤続年数11.1年）であった。労働組合の有無別にみると、労働組合が「あり」と回答した企業は「なし」と回答した企業に比べ、所定時間内賃金で18,386円（5.1%）高くなっている。所定時間内賃金は「50～99人」が最も高く、所定時間外賃金は企業規模が大きくなるにつれて高くなっている。

また、令和3年の全常用労働者の年間給与支払額（所定時間外賃金、賞与等を含む。）の平均額は5,582,454円であった。

〈図表3-1〉全常用労働者の平均賃金

【単位：歳、年、円】

	平均年齢	平均勤続年数	令和4年7月1か月の平均賃金			令和3年 年間給与 支払額
			所定時間内 賃金	うち通勤手当	所定時間外 賃金	
労組あり	44.1	12.8	379,842	11,440	38,112	5,820,055
労組なし	42.7	10.9	361,456	11,328	31,569	5,543,949
10～49人	44.2	11.1	340,695	11,156	30,494	5,006,535
50～99人	42.6	11.0	379,263	11,626	31,321	5,890,931
100～299人	41.7	11.3	376,038	11,315	35,295	5,933,338

前回調査結果と比較すると、所定時間内賃金は14,145円（4.0%）増加し、所定時間外賃金は1,986円（6.5%）増加した。また、令和3年の年間給与支払額は令和2年より403,891円（7.8%）上回った。

〈図表3-2〉平均賃金の推移

【単位：円、%】

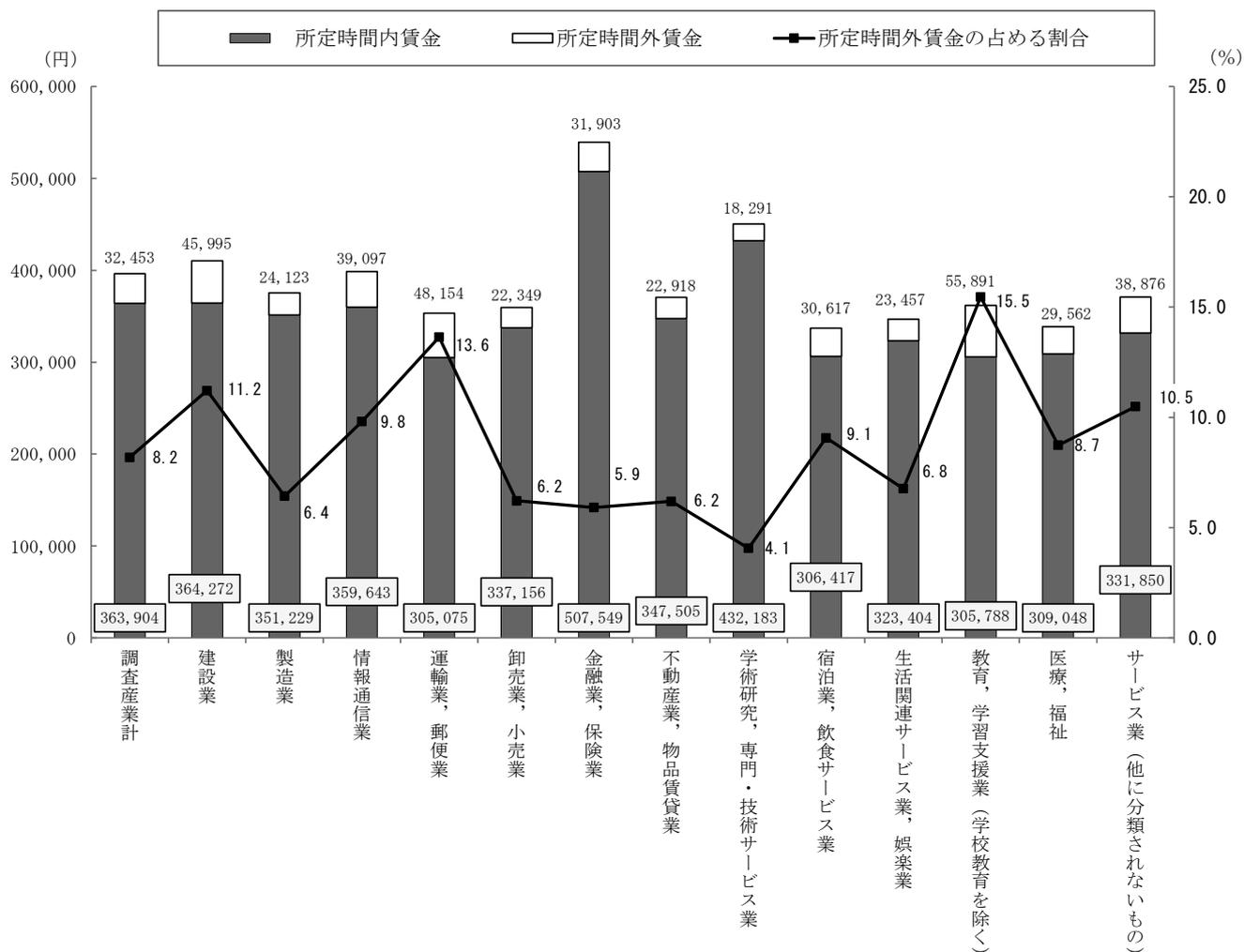
調査年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年
所定時間内賃金	334,535	353,431	346,678	348,159	351,957	348,306	346,055	350,477	349,759	363,904
対前年比	△2.5	5.6	△1.9	0.4	1.1	△1.0	△0.6	1.3	△0.2	4.0
所定時間外賃金	25,457	32,602	32,752	36,555	34,617	35,749	36,611	29,803	30,467	32,453
対前年比	△15.8	28.1	0.5	11.6	△5.3	3.3	2.4	△18.6	2.2	6.5
賃金計	359,992	386,033	379,430	384,714	386,574	384,055	382,666	380,280	380,226	396,357
対前年比	△3.6	7.2	△1.7	1.4	0.5	△0.7	△0.4	△0.6	△0.0	4.2
年間給与支払額 (源泉徴収票の支払金額)	5,059,193	5,244,997	5,355,812	5,475,097	5,341,120	5,399,265	5,507,107	5,178,563	5,582,454	-
対前年比	1.3	3.7	2.1	2.2	△2.4	1.1	2.0	△6.0	7.8	-

(2) 産業別平均賃金（集計表 第3表-①）

所定時間内賃金（通勤手当含む。）では「金融業、保険業」が最も高く507,549円、次いで「学術研究、専門・技術サービス業」432,183円、「建設業」364,272円の順となっている。所定時間内賃金が最も低い産業は「運輸業、郵便業」で305,075円であった。

所定時間外賃金の高い産業をみると、「教育、学習支援業（学校教育を除く）」55,891円、「運輸業、郵便業」48,154円、「建設業」45,995円の順になっており、賃金総額における所定時間外賃金の占める割合は「教育、学習支援業（学校教育を除く）」が15.5%と最も高くなっている。

<図表3-3>平均賃金の産業別比較



(3) 男女別平均賃金 (集計表 第3表-③)

所定時間内賃金では男性 386,354 円 (平均年齢 44.1 歳、平均勤続年数 12.0 年)、女性 313,339 円 (平均年齢 40.2 歳、平均勤続年数 9.3 年) であり、女性の所定時間内賃金は男性の 81.1% となっている。これを産業別にみると「医療、福祉」(93.7%)、次いで「運輸業、郵便業」(92.2%) の順に男女間の所定時間内賃金の差が小さくなっている。一方、「金融業、保険業」(71.9%)、次いで「学術研究、専門・技術サービス業」(73.1%) の順に男女間の所定時間内賃金の差が大きくなっている。

<図表 3-4> 男女別平均賃金

